



絵本図書館 (iPad、Android) アプリ

vol.02

minnanoehon@AAA-co.jp

はじめに

2011.3.11の震災後、私たちに何ができるのだろうか。社内で色々検討をしました。しかし、クリエイティブ会社としては成す術が無かったのが正直なところです。確かに節電、売上の一部の寄付など、その他一般的な事は継続実行しています。

我々だけではなくクリエイティブに関わる方々と協働(および支援企業様)で、何かを創造できないか・・・。

このような気持ちで

絵本を中心に、皆様に協力を頂ける「みんなの絵本」プロジェクトを立ち上げました。

いままでに無い「絵本づくり」に挑戦しますので

是非、ご協力をお願い申し上げます。

絵本図書館の目的

- 1) 現代社会に生きる、大人たちのストレスの緩和
- 2) 子供たちに夢を…
- 3) 被災者(大人も、子供も)のよりどころになれる、絵本の提供
- 4) 教育的側面も合わせ持つスタイル(言語のローカライズ)など

制作コンセプト

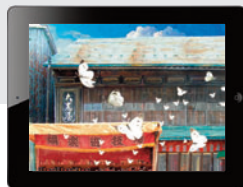
元気に!なれる、ホッと!な気分になれる、なごめる!

=全てポジティブに!

悲しい話は、もう、いらない。

デジタル・コンテンツのイメージ

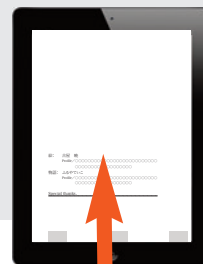
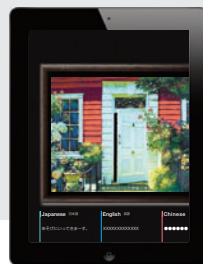
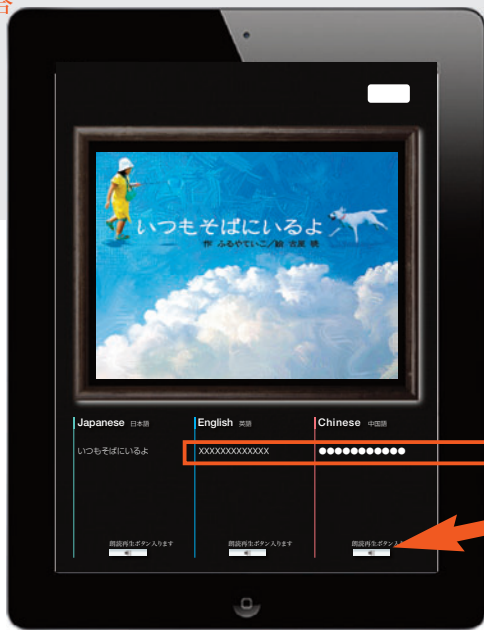
iPad を横にして観た場合は通常の絵本



iPad を縦にして観る場合

- 原本の翻訳 英文／中分／
- 音声ボタン 朗読開始

韓国語追加



表紙にプロジェクト参画社、参加者のプロフィール、など

原本の翻訳 英文／中文／協賛会社が担当

音声ボタン 朗読開始
音声はアナウンサー、声優、タレントなど

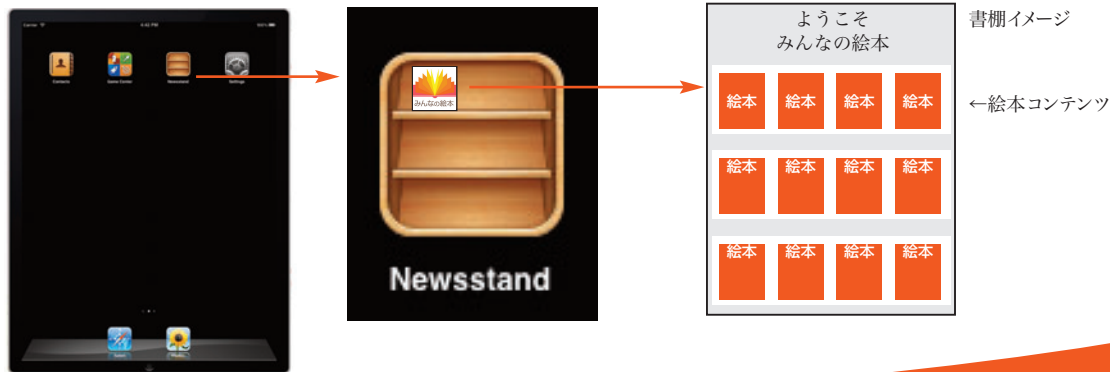


配信形態

iPadのApp Storeと、AndroidのAndroidマーケットをとおしてアプリケーションとして提供する。

(iPhoneには対応しません)

- 1) 図書館としての書棚アプリケーションとする。(無料のアプリ)
(iPadのNewsstand対応とする。Android marketは2012年3月対応予定)
- 2) 書棚に絵本(コンテンツ)を配布する(閲覧は有料/月額見放題)
自動で新刊発行通知を受け取れます(ダウンロードは任意)



収益構造と分配、著作権について

1)課金方法(仮)

月額で見放題とする

3ドル(250円)

2)分配金の計算方法(Appleの場合)

Apple(30%)+AAA(30%)+著作者(37%)+義援金預金(3%)

月締(又は3ヶ月おき)めにて、著作者へ著作料としてお振込

3)印刷部が欲しいというニーズに応える

=オンデマンドによる印刷(本体)+ケース(3冊が入る、別売)

=一冊から対応する

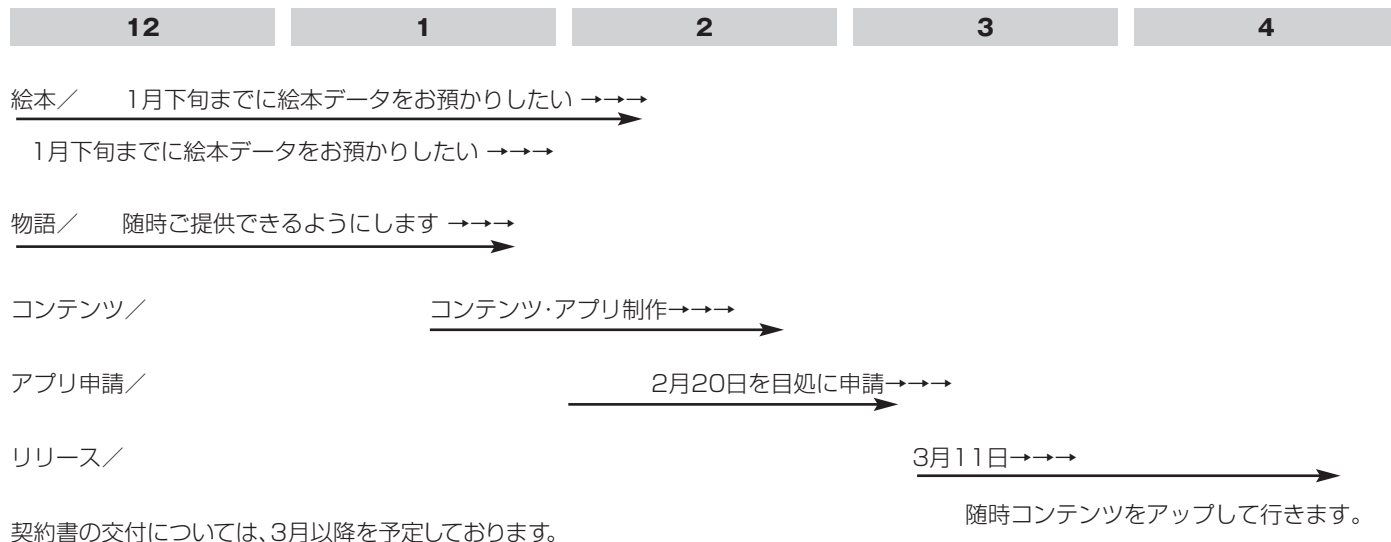
=全て同サイズになります(A5横開き想定)

著作者のみに著作料をお支払い(粗利の50%で検討)

著作権について

配信されるコンテンツは、DRM(デジタル・ライツ・マネジメント)により管理されます。

スケジュール(イメージ)



制作について

画角を横位置にてお願いします。

ピクセル

横=1024ピクセル

縦=768ピクセル

テキスト有効サイズは、マージンを40ピクセル以上を取ってください。

当社で作業を行う事は可能です。

動画を入れたい

アニメーションとして、可能です。

当社でもお手伝いしますので、ご相談ください。簡単な動きに限ります。

データについて

CMYKにてお願いします。(アプリはRGBになりますが、印刷との誤差を減らします。

印刷用も配慮して、350dpiにてお願いします。

最後に

認知されるまで、またマネタイズできるまで、時間がかかるかもしれませんが、必ず、意義のある媒体にしていきたいと存じます。
是非ご協力の程、よろしくお願い致します。

お問い合わせ／連絡先
株式会社スリーエー・コーポレーション
二瓶真浩(マサヒロ・ニヘイ)

minnanoehon@AAA-co.jp(専用アドレス)

上記へメールに到着次第
Googleからエントリーシートを送信します。
必要な項目に入力をお願い致します。